130th ナラハク

超国宝
ー祈りのかがやきー

奈良国立博物館開館130年記念特別展

ジュニアガイド

中学生以下観覧無料！





No. 1　国宝
観音菩薩立像（百済観音）
飛鳥時代（7世紀）
奈良 法隆寺【通期展示】

奈良国立博物館開館 130 年記念特別展
「超 国宝ー祈りのかがやきー」

【会期】2025 年 4 月 19 日（土）～ 6 月 15 日（日）
【会場】奈良国立博物館　東・西新館
【主催】奈良国立博物館、朝日新聞社、NHK 奈良放送局、
NHK エンタープライズ近畿
【協賛】クラブツーリズム、ダイキン工業、大和ハウス工業、
竹中工務店、NISSHA、ひらくと
【特別支援】DMG 森精機　【協力】日本香堂、仏教美術協会
【後援】奈良県、奈良市

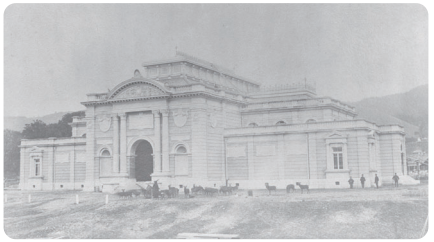
【前期展示】2025 年 4 月 19 日（土）～ 5 月 18 日（日）
【後期展示】2025 年 5 月 20 日（火）～ 6 月 15 日（日）

奈良博（ナラハク）は今年（2025 年）



開館 130 年！





開館当初の
奈良国立博物館
（帝国奈良博物館）

ナラハクってこんなところ！

ナラハクは明治 28 年（1895）の開館以来、主に奈良とその周辺のお寺や神社の協力のもと、仏教美術を中心とした文化財の価値や魅力を守り伝える活動を続けてきました。これらの文化財を未来へと受け継いでいくためには、「文化財を大切にしよう」という思いを多くの人と共有することが大切です。その思いを伝え、広めていくことは、ナラハクの重要な役割のひとつです。

「国宝」とは？

長い歴史の中で、人びとが生み出し、今日まで守り伝えられてきたものを、「文化財」といいます。その中でも、世界的に見て文化的・歴史的に特に重要だと考えられる国民の宝が、「国宝」として選ばれています！



第1章 南都の大寺

ナラハクは長年、奈良の歴史あるお寺と共に歩んできました。その歩みにまつわる文化財を見てみましょう！

遠く飛鳥時代から奈良を見守る！



No. 1　国宝　観音菩薩立像（百済観音）
飛鳥時代（7 世紀）
奈良 法隆寺【通期展示】

東大寺

約 1300 年続く
大仏で有名なお寺

大仏殿の前で
大仏さまを見守った！

戦乱による火災を
何度も乗り越えて
残ったんだぞ！



No. 18　国宝
金銅八角燈籠火袋羽目板
奈良時代（8 世紀）　奈良 東大寺
【後期展示（5 月 16 日～ 6 月 15 日）】

法隆寺

1400 年以上続く
聖徳太子ゆかりのお寺



絶妙なバランス！

奈良時代の燈籠の一部！

平安時代初期を代表する仏像！



するどい目つき！

病を追い払う
ためにこんなお顔が
流行したんだって！

元興寺

蘇我馬子ゆかりの
飛鳥寺を前身とする
1300 年以上続くお寺

No. 26　国宝　薬師如来立像
平安時代（9 世紀）
奈良 元興寺【通期展示】

第2章 奈良博誕生

ナラハクは、文化財の魅力と大切さを伝えた奈良博覧会を機に誕生しました。博覧会ゆかりの文化財をご紹介！

東西文化が融合したスペシャルな瓶！



龍は東の
中国風！

翼のある馬は西の
ギリシア・ローマ風！

龍のうろこも表現！

No. 47　国宝　竜首水瓶
飛鳥時代（7 世紀）
東京国立博物館（法隆寺献納宝物）
【通期展示】

8つの顔をもつふしぎなお面!?



雨をもたらすご利益が
あるらしいで！

No. 50　八雷神面
室町～江戸時代（16 ～ 17 世紀）
奈良 元興寺【通期展示】

仏さまに灯りをささげるユーモラスな鬼たち！



どう動！

体は木製で…

キラキラ3つ目は水晶製！



立派なゲジゲジまゆ毛は金属製！

静…

No. 51　国宝　天燈鬼・龍燈鬼立像
鎌倉時代　建保 3 年（1215）
奈良 興福寺【前期展示】

第3章 釈迦を慕う

仏教をはじめたお釈迦さまを尊敬する思いは、奈良でも大切にされ、数々の名宝を生み出しました。

お釈迦さまって？

インドの小さな国の王子さまとして生まれ、修行によって悟りを開き、人から仏さまになった特別な存在です。その教えが、後の時代に「仏教」と呼ばれるようになります。

お釈迦さまの骨をまつる黄金の塔



亀が塔を背負っているね！

超絶技法でつくられた！きらびやかで豪華な一品

No. 69　国宝　金亀舎利塔
鎌倉時代（13 世紀）
奈良 唐招提寺【通期展示】

これぞ真のお釈迦さまの姿!?



まるで生きているみたいな存在感があるわ〜

この姿を手本とした仏像が後の時代にたくさんつくられる！

No. 66　国宝　釈迦如来立像
中国・北宋　雍熙 2 年（985）
京都 清凉寺【後期展示】

お釈迦さまの教えを守り伝える！





特別な修行を積み後世に教えを伝えるために活躍したお坊さんたち！

教えがきちんと伝わって安心だね！

No. 75　国宝
十六羅漢像（第八尊者・第十六尊者）
平安時代（11 世紀）　東京国立博物館【前期展示】

第4章 美麗なる仏の世界

人びとは仏さまに祈りを込めるため、その姿を美しく、きらびやかに表現しました。美しき仏さまの世界をのぞいてみましょう！

お釈迦さまが生き返る奇跡のシーン！



亡くなったお母さんが天から会いに来た！



みんなびっくり驚いているな〜！

No. 97　国宝
釈迦金棺出現図
平安時代（11〜12 世紀）
京都国立博物館【後期展示】

金銀の模様と目に鮮やかな色彩！



金を用いた美しい模様

赤と緑の鮮やかな色がはっきり残っているね！



No. 81　国宝　十一面観音像
平安時代（12 世紀）
奈良国立博物館【前期展示】

超有名仏師・運慶のすばらしき最初期作！



腕の角度にもこだわって完璧な美を追究！

No. 80　国宝
大日如来坐像　運慶作
平安時代　安元 2 年（1176）
奈良 円成寺【通期展示】

第5章 神々の至宝

日本では古くから、神さまへの信仰が大切にされ、祈りがささげられてきました。神々の名宝をご紹介！

霊力あふれる最強の神剣！



つくられた日時は…

丙午の正陽（真昼）

火のパワーが強い日を選んでつくられた！

No. 100　国宝
七支刀
古墳時代（4世紀）
奈良 石上神宮
【通期展示】

7本の刃ですさまじい呪力!?

※会場の最後の方に展示されているよ！

謎多き剣…ロマンがあるな〜！

奈良時代の美しき女神！

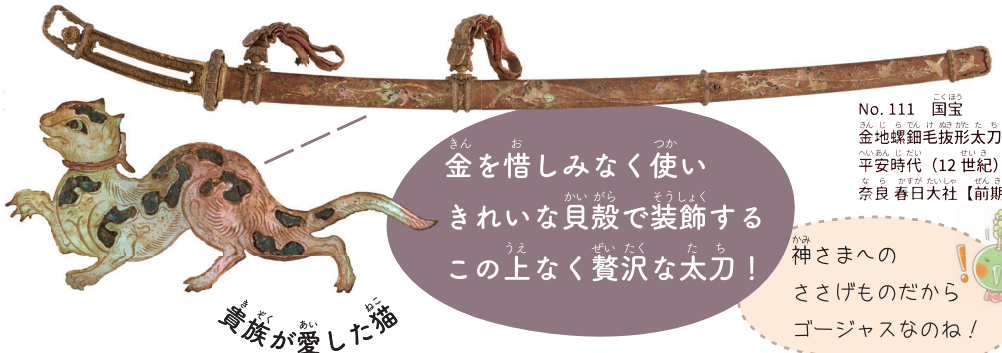


約1250年前から儀式で用いられ長らく神社にまつられてきた

大切にされてきたからきれいに残っているんやな！

No. 108　国宝　吉祥天像
奈良時代（8世紀）　奈良 薬師寺
【前期展示（4月19日〜5月6日）】

平安貴族が神にささげた最高級の太刀！



貴族が愛した猫

金を惜しみなく使いきれいな貝殻で装飾するこの上なく贅沢な太刀！

No. 111　国宝
金地螺鈿毛抜形太刀
平安時代（12世紀）
奈良 春日大社【前期展示】

神さまへのささげものだからゴージャスなのね！

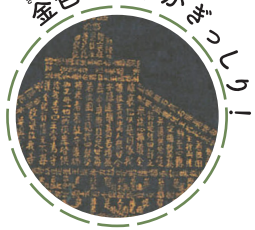
第6章 写経の美と名僧の墨蹟

仏さまの教えを記したお経は、祈りを込めて人の手で書き写され、時代を超えて広まりました。個性あふれる書の世界をお楽しみください！

お経の文字で表す祈りを込めた金の塔！



金色の文字がぎっしり！



こんなところにも!?

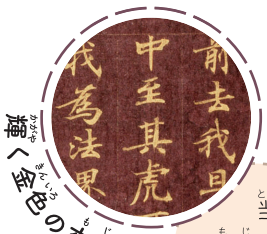


No. 131　国宝
金光明最勝王経金字宝塔曼荼羅
第六幀　平安時代（12世紀）
岩手 中尊寺大長寿院
【前期展示】

塔を建てることとお経を写すことは両方尊い行い

国の平和を祈る奈良時代の美しいお経



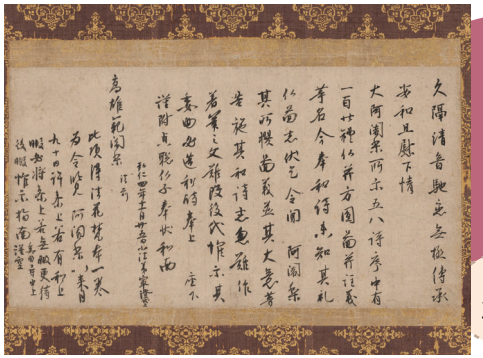


輝く金色の文字！

No. 121　国宝
金光明最勝王経（国分寺経）
奈良時代（8世紀）
奈良国立博物館【通期展示】

当時は金で書いた文字をイノシシの牙でこすって輝かせたりしていたらしいで！

天台宗の祖・最澄の唯一の直筆の手紙



No. 132　国宝
尺牘（久隔帖）　最澄筆
平安時代　弘仁4年（813）
奈良国立博物館【後期展示】

最澄さんの息づかいを感じる貴重な一通！

弟子を気遣う最澄さんの優しさを感じる手紙だね！

第7章 未来への祈り

仏さまの教えのもと、人びとの祈りは昔から変わらず、これからも未来へと続いていきます。

はるかなる時を超えて祈りを伝える美しい仏さま





「道長」さんのお名前が！

あの有名な平安貴族・藤原道長さんが納めたんだ！

No. 141　国宝　藤原道長経筒
平安時代　寛弘４年（1007）
奈良 金峯神社【後期展示】

祈りを込めたお経を入れるタイムカプセル！



土の中で石室に入れられていたからかバツグンのきれいさで発見！

大切にしまわれたから長く残ったのね！

No. 140　国宝
鞍馬寺経塚出土品 宝塔形経筒
平安時代（10～12世紀）
京都 鞍馬寺【前期展示】



やさしい微笑みをたたえる姿はまさに人びとの祈りが形となった存在！

祈りの力を表しているんだな！

No. 143　国宝
菩薩半跏像
（伝如意輪観音）
飛鳥時代（7世紀）
奈良 中宮寺
【後期展示】

特別展「超 国宝」の世界、楽しめたかな？

展覧会タイトルの「超」には、国宝を生み出した人びとや、国宝を守り伝えてきた人びとの「心」こそ本当にすばらしいもの、という思いを込めたんだ。この展覧会を通して、「文化財を未来へつないでいこう！」という思いを受け取ってくれたのなら、その心こそが

超 国宝！

これからも、「文化財を未来へ守り伝える」という思いを大切にしてくれるとうれしいな。





©2025 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.

制作：奈良国立博物館
企画・構成・編集・文：翁みほり、久米彩也加
デザイン：久米彩也加　ざんまいずイラスト：翁みほり
（以上、奈良国立博物館 学芸部 企画課 教育室）

奈良国立博物館 NARA NATIONAL MUSEUM
もっと知りたい！仏教美術 ならはく教育普及室 NARAHAKU LEARNING CENTER